

あなたの「夢」を
応援しています！

2027

SUPPORT PLAN

学費サポート のご案内

保護者様も一緒にご覧ください

- 修学支援新制度
- 奨学金
- 教育ローン 等

あなたの目的に合わせた
サポートが充実しています。

あなたの希望に合わせた 学費サポートプランを選ぼう!

	学費 に使えるお金	寮・アパート に使えるお金	生活費 に使えるお金
教育ローン			
PLAN 1 → P2へ 国の教育ローン 日本政策金融公庫	●	●	×
PLAN 4 → P7へ 銀行系教育ローン 三井住友銀行 福岡銀行 西日本シティ銀行	●	×	×
PLAN 5 → P8へ 信販系教育ローン (株)オリエントコーポレーション (株)ジャックス	●	●	×
奨学金			
PLAN 2 → P3・4へ 貸与型 奨学金制度 日本学生支援機構	●	●	●
修学支援			
PLAN 3 → P5・6へ 高等教育の 修学支援新制度 ※返済不要	授業料等減免 給付奨学金	×	×
PLAN 6 → P9へ 本校独自の学費サポート 学費分割納入	学費分割納入は本校独自の学費のサポートです。 日本学生支援機構奨学金(P3・4)、修学支援新制度(P5・6)を利用して 納入いただけます。		
PLAN 7 保護者・兄弟姉妹 学費免除制度	入学者の保護者・兄弟姉妹が滋慶学園グループに在籍、もしくは卒業生の場合、 初年度の学費の一部(10万円)が免除となります。 ※保護者・兄弟姉妹学費免除については、募集要項をご確認ください。		

● 教育ローンと奨学金の違いは?

	教育ローン	奨学金
お金を受け取る方法	一括振込 ※信販系教育ローン・一部銀行系ローンは直接学校へ振込	毎月振込(4月以降) ※日本学生支援機構の場合
お金を受け取るのは	保護者	学生
借りたお金を返すのは	保護者	学生
申込時期	学費や海外研修参加費など、 資金が必要になったとき	入学前予約採用:高校3年生の4~7月頃 入学後採用:本校入学後毎年4月

1 国の教育ローン 日本政策金融公庫

国 の 教 育 ロ ン 日本政策金融公庫とは

日本政策金融公庫は、全額政府出資の政府系金融機関です。
公的な融資制度として安心して利用でき、低利で手続きが簡単です。

1.ご利用いただける方

- 本校に入学・在学される方の保護者で、次表の年間収入(所得)以内の方。

世帯の年間収入(所得)には、世帯主のほか、配偶者等の収入(所得)も含まれます。

子どもの人数(注1)	給与所得者	事業所得者
1人	790万円	600万円
2人	890万円	690万円
3人	990万円	790万円
4人	1,090万円	890万円
5人	1,190万円	990万円

(注1)「子どもの人数」とは、お申込みいただく方が扶養しているお子さんの人数を指します。
年齢、就学の有無を問いません。「6人以上」の場合は教育ローンセンターへお問い合わせください。

- 子ども2人以内世帯の年間収入が990万円(所得790万円)以内であって、特例要件のいずれかに該当する方
※特例要件につきましては、教育ローンセンターへお問い合わせください。

2.融資額

学生お1人につき350万円以内。

※兄弟・姉妹の時に利用していく現在返済中であっても可。

※自宅外通学者または海外留学資金(一定の条件付き)の場合は、最高450万円

3.資金使途

- 学校納付金(入学金、授業料、教科書代、施設設備費など)
- アパート・マンションの敷金・家賃や寮費など

※1年間分の費用が、融資の対象となります。2年目以降に必要となる費用は、改めても一度お申込みいただくことになります。

4.金利

年3.15%(固定)(令和7年11月1日現在)

- 母・父子家庭、世帯年収200万円(所得132万円)以内の方

または子ども3人以上の世帯かつ世帯年収500万円(所得356万円)の方は上記利率の▲0.4%

※金融情勢によって変動しますので最新情報は日本政策金融公庫のホームページをご確認ください。

5.返済期間

20年以内(利息のみの返済期間を含みます)

6.返済据置期間

在学期間以内。
据置期間中は利息のみのご返済とすることができます。

7.保証人

(公財)教育資金融資保証基金または連帯保証人からお選びいただけます。

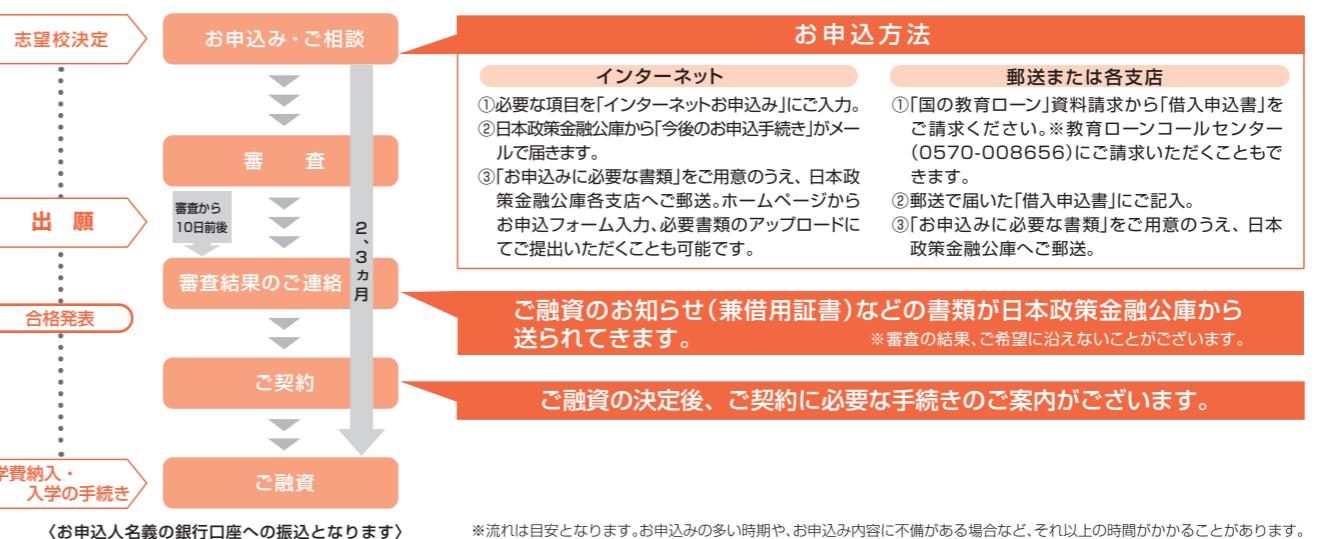
- (公財)教育資金融資保証基金 保証人に代わって融資の保証人をする機関です。(保証料が必要です)
※保証料につきましてはご融資額・ご返済期間により異なりますので、詳しくはセンターへお問い合わせください。

8.返済例

- 日本政策金融公庫
教育ローン返済シミュレーションアドレス
<https://www.jfc.go.jp/n/finance/ippan/sim.html>



●ご利用の流れ



- 日本政策金融公庫 国の教育ローン
ホームページアドレス
<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>
- 教育ローンセンター
0570-008656または03-5321-8656
月～金 9:00～19:00
※土日祝日・年末年始を除く



2 貸与型奨学金制度 日本学生支援機構

貸与型の奨学金制度とは

在学中に借りて、卒業してから少しづつ分割で返還できるシステム。
無利子または低利子なので、返還も無理がありません。

奨学金は①第一種奨学金(無利子)と②第二種奨学金(有利子)の2種類があります。

本校に入学されますと、日本学生支援機構の奨学金制度に申し込むことができます。高校在学中に採用されなかった方でも、入学後再度申し込みが可能です。
日本学生支援機構の奨学金にはさまざまな利点があります。

- 1. 保護者の学費の負担が軽減できます。
- 2. 在学中は無利子です。
- 3. 返還は卒業後6ヶ月は据え置きで仕事が安定してから始まります。
- 4. 第一種、第二種のいずれか、もしくは両方が申し込みできます。

①第一種奨学金(無利子)

2026年度入学者・在学採用の場合

募集に関して	第二種奨学金(有利子)との併用が可能です。※併せて「入学時特別増額貸与奨学金」制度も利用できます。
貸与月額	自宅通学53,000円*、自宅外通学(50,000円、60,000円*) ※通学方法問わず20,000円、30,000円、40,000円を選択することができます。 ★最高月額については、併用貸与の基準を満たしている方のみ選択可。 (例)修学支援I・II区分、多子世帯になる場合、第一種奨学金は月額0円等となります。(併給調整)
貸与始期	4月(採用決定時期は、6月～7月頃。4月分からまとめてのお振込となります) ※詳細は本校の奨学金担当者までお問い合わせください。

②第二種奨学金(有利子)

2026年度入学者・在学採用の場合

募集に関して	第一種奨学金(無利子)との併用が可能です。※併せて、「入学時特別増額貸与奨学金」制度も利用できます。
貸与月額	20,000円～120,000円(1万円単位)から選択 ※貸与中に金額変更が可能。
貸与始期	入学後、申込者の希望の月から可能。(採用決定時期は、6月～7月頃ですが、4月に通り貸与することも可能です。) ※詳細は本校の奨学金担当者までお問い合わせください。

●入学時特別増額貸与奨学金(一時金)

入学後に、初回振込日に合わせて振り込まれます。
10万円から50万円までの間で10万円単位で額を選択できます。
申込みは入学時に限ります。

- 原則、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」(P2)を申し込み、低所得等を理由に利用できなかった世帯の方が対象です。
- 入学時特別増額貸与奨学金のみの申込みはできません。
また、入学前の貸与ではありませんので、ご注意ください。
- 貸与利率は、基本月額に係る利率に0.2%上乗せした利率です。
※詳細は本校奨学金担当者までお問い合わせください。

●奨学金を借りるには保証制度の選択・加入が必ず必要です

保証機関に保証を依頼する「機関保証」か家族・親戚等に保証をお願いする「個人的保証」のいずれかを選択

機関保証制度	個人的保証制度
連帯保証人や保証人を立てる必要がなく、一定の保証料を支払うことでのみの意思と責任において、奨学金の申し込みができる制度です。 保証料は、貸与中に、毎月の奨学金から差し引かれます。	一定の条件にかなった連帯保証人及び保証人が保証する制度です。 原則として連帯保証人は「父母またはこれに代わる人」、保証人は「4親等以内の親族で本人及び連帯保証人と別生計の人」を選ぶ必要があります。

■選考基準(家計基準・学力基準)

2026年度入学者・在学採用の場合

※選考基準の審査は独立行政法人日本学生支援機構が行います。

①家計基準

生計維持者の「貸与額算定基準額(*1)」が次の基準額以下であること。
※家計基準の審査は、原則、入学予定者と生計維持者(父母等)のマイナンバーにより取得した情報に基づいています。

第一種奨学金	第二種奨学金	併用貸与(第一種+第二種)
189,400円	381,500円	164,600円

(*1) 貸与算定基準額= (課税標準額) × 6% - 一町市村民税調整控除額 - 多子控除 - ひとり親控除 - 私立自宅外控除
・市町村民税所持割が非課税の人は、この計算式にかかわらず、貸与額算定基準額が0円になります。(一部例外あり)
・政令指定都市に対して市民税を納税している場合は、(市町村民税調整控除額)に3/4を乗じた額となります。
・各種控除額の詳細については、日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

★世帯の年収・所得の上限額の目安

(単位:万円)

世帯 人数	想定する世帯構成	(★)が給与所得者の世帯 (年間の収入金額)		(★)が給与所得者以外の世帯 (年間の所得金額)			
		第一種	第二種	併用貸与	第一種	第二種	併用貸与
2人	あなた、親①(ひとり親)(★)	777	1,180	722	559	905	513
3人	あなた、親①(★) 親②(無収入)	732	1,127	677	550	891	503
4人	あなた、親①(★) 親②(★※)、高校生	880	1,309	826	613	937	566

*親2は、例として、給与所得の場合(左表)は収入300万円、給与所得以外の場合(右表)は所得200万円としています。
※表中の数字はあくまで目安です。世帯構成、障がい者の有無等により異なります。

日本学生支援機構が提供しているWEBサイトで、家計基準に該当するかおおよその目安として確認できます。

「進学資金シミュレーター」 <https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp>



■奨学金の返還方法・返還例

(※第一種奨学金は返還方式が選択できます)

〈返還方法〉卒業後、口座振替(自動引き落とし)にて返還します。

〈返還例〉

●第一種奨学金

①定額返還方式

貸与期間	通学形態	貸与月額(円)	貸与総額(円)	返還月額(円)	返還回数	返還年数
36ヶ月 (3年制)	自宅・自宅外	20,000	720,000	6,666	108	9
	自宅・自宅外	30,000	1,080,000	7,500	144	12
	自宅外	40,000	1,440,000	9,230	156	13
	自宅外	50,000	1,800,000	11,538	156	13
	自宅	53,000	1,908,000	12,230	156	13
48ヶ月 (4年制)	自宅外	60,000	2,160,000	12,857	168	14
	自宅・自宅外	20,000	960,000	8,000	120	10
	自宅・自宅外	30,000	1,440,000	9,230	156	13
	自宅外	40,000	1,920,000	12,307	156	13
	自宅外	50,000	2,400,000	13,333	180	15
60ヶ月 (5年制)	自宅	53,000	2,544,000	15,142	168	14
	自宅外	60,000	2,880,000	15,000	192	16
	自宅外	60,000	3,200,000	15,278	204	17
	自宅外	60,000	3,520,000	15,553	219	18
	自宅外	60,000	3,840,000	15,830	234	19
72ヶ月 (6年制)	自宅外	60,000	4,160,000	16,107	252	20
	自宅外	60,000	4,480,000	16,384	267	21
	自宅外	60,000	4,800,000	16,661	282	22
	自宅外	60,000	5,120,000	17,038	297	23
	自宅外	60,000	5,440,000	17,415	312	24

注:2026年度入学者が標準修業年限貸与した場合(予定)

②所得連動返還方式

※返還月額・年数は年収による。



線上返還

線上返還では、返還額の全額または一部を繰り上げて返還することが可能です。

通常の返還と同様に、ご登録いただく振替口座からの振替となります(手数料はかかりません)。

一部線上返還をした場合、繰り上げた分の返還期間が短縮されます(翌月からの返還は通常通りで、割賦金額が減額されることはありません)。

返還が困難になったら…

災害、傷病、その他経済的理由により返還が困難になった場合、月々の返還額を少なくしたり(減額返還制度)、返還を待ってもらったり(返還期限猶予)することができます。
必ず、日本学生支援機構にご連絡をお願いいたします。

「いくら奨学金を借りればいいんだろう?」「毎月いくら返還していくことになるんだろう?」考えながらシミュレーションしてみましょう。

奨学金貸与・返還シミュレーション

●日本学生支援機構 奨学金貸与・返還シミュレーションアドレス

<https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>



3

高等教育の修学支援新制度

授業料等減免と日本学生支援機構の給付奨学金

高等教育の 修学支援新制度とは

**入学金・授業料の
免除 / 減額**



**給付奨学金の
支給**

■申込資格

次の(1)または(2)のいずれかに該当する方

(1) 2027年3月に高等学校等(本科)を卒業予定の人

(2) 高等学校等(本科)を卒業後2年内の人

※高卒認定試験合格(見込)者も対象となる場合があります。詳細は、日本学生支援機構のホームページでご確認ください。

※原則日本国籍を有する者。外国籍の人は、在留資格により申込資格に制限があります。

※過去に同法律に基づく修学支援新制度を受けたことがある人を除きます。

※卒業後2年内とは高等学校等で初めて卒業(修了)した日の属する年度の翌年度の末日から専門学校等へ入学した日までの期間が2年を経過していない場合を指します。

■選考基準(家計基準・学力基準)

※授業料等減免と給付奨学金支給の支援対象者の選考基準は同一となります。

※審査は独立行政法人日本学生支援機構が行います。

審査の結果、世帯の所得金額に基づく区分(第I区分～第IV区分)によって授業料等の減免額と毎月の給付奨学金の支給額が決まります。

※多子世帯の場合、所得に関わらず一定額まで授業料等が減免となります。

① 家計基準

第I区分 第II区分 第III区分 第IV区分			
給付奨学金 上限額まで 支援	上限額の 2/3支援	上限額の 1/3支援	上限額の 1/4支援
授業料等減免 上限額まで 支援	上限額の 2/3支援	上限額の 1/3支援	上限額まで 支援
住民税非課税世帯 年収自安	住民税非課税世帯 年収自安	住民税非課税世帯に準ずる世帯 年収自安	世帯収入600万円 程度までの多子世帯 年収自安
※多子世帯: 扶養する子の 数が3人以上 である世帯			多子世帯※

住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯・多子世帯等の学生が対象

[収入基準]※家計基準の審査は、原則、入学予定者と生計維持者(父母等)のマイナンバーにより取得した情報を基に行われ、収入基準・資産基準のいずれにも該当する必要があります。

第I区分
標準額支援世帯
入学予定者と生計維持者の市町村民税所得割が
非課税であること(※1)

第II区分
2/3支援世帯
入学予定者と生計維持者の支給額算定基準額(※2)の合計が
100円以上25,600円未満であること

第III区分
1/3支援世帯
入学予定者と生計維持者の支給額算定基準額(※2)の合計が
25,600円以上51,300円未満であること

第IV区分
1/4支援世帯
(多子世帯)
入学予定者と生計維持者の支給額算定基準額(※2)の合計が
51,300円以上154,500円未満である多子世帯
(扶養する子の数が3人以上である世帯)

(※1) ふるさと納税・住宅ローン控除等の税金控除の適用を受けている場合、各区分に該当しない場合があります。
(※2) 支給額算定基準額=市町村民税の所得割の課税標準額×6%-(調整控除の額+税額調整額)
ただし、政令指定都市に市民税を納税している場合は、(調整控除の額+税額調整額)に3/4を乗じた額となります。
「マイポータル」を活用すれば、市町村民税の課税標準額を調べることができます。

【資産基準】

入学予定者と生計維持者の保有する資産(※3)の合計額が以下の基準額に該当すること

資産額の合計:5,000万円未満(多子世帯における授業料減免においては3億円未満)

(※3) 対象となる資産の範囲:現金及びこれに準ずるもの、預貯金並びに有価証券・貴金属等の合計額となります(不動産は対象としない)

② 学力基準

次の(1)～(3)のいずれかに該当する方

(1) 高等学校等における評定平均値が、3.5以上であること

(2) 高等学校卒業程度認定試験の合格者であること

(3) 将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、

学修計画書等により確認できること

※詳しくは、予約採用の方は高等学校へ、在学採用の方は進学先へお問い合わせください。

※採用された場合も、進学後の学業成績などによっては、支援が打ち切りになることがあります。

本校は修学支援の
対象機関です

日本学生支援機構が提供しているWEBサイトで、収入基準に該当するおおよその目安として確認できます。

「進学資金シミュレーター」 <https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp>

■支援金額

支援を受けられる金額は、世帯の所得金額に基づく区分(第I区分～第IV区分)のほかに、
進学先の学校の種類・通学形態(自宅通学・自宅外通学)によって異なります。

授業料等減免

○各専門学校等が、以下の上限額まで授業料等減免

授業料等減免の上限額(年額)

(住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の区分による)※左ページ参照

	入学金	授業料	合計
第I区分 標準額支援世帯	160,000円	590,000円	750,000円
第II区分 2/3支援世帯	106,700円	393,400円	500,100円
第III区分 1/3支援世帯	53,400円	196,700円	250,100円
多子世帯 (扶養する子供が3人以上)	160,000円	590,000円	750,000円

※進学先の学校の入学金・授業料の金額が上限額より低い場合は、その金額が上限額となります。

※年度途中の支援区分の見直しにより減免額は変更となる場合があります。

給付奨学金

○原則返還は不要です

給付奨学金の給付額

(住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の区分による)※左ページ参照

	自宅通学	自宅外通学 ^{※2}
第I区分 標準額支援世帯	月額 38,300円 ※1(42,500円)	75,800円
	年計 459,600円 ※1(510,000円)	909,600円
第II区分 2/3支援世帯	月額 25,600円 ※1(28,400円)	50,600円
	年計 307,200円 ※1(340,800円)	607,200円
第III区分 1/3支援世帯	月額 12,800円 ※1(14,200円)	25,300円
	年計 153,600円 ※1(170,400円)	303,600円
第IV区分 ^{※3} (多子世帯) (扶養する子供が3人以上で す) (所得が600万円未満の世帯)	月額 9,600円 ※1(10,700円)	19,000円
	年計 115,200円 ※1(128,400円)	228,000円

(※1) 生活保護世帯の人及び進学後も児童養護施設などから通学する人は、上表のカッコ内の金額となります。

(※2) 自宅外通学と認められるにはいくつかの条件があります。(実家から学校までの距離や通学時間等)詳しくはお問い合わせください。

(※3) 多子世帯のみの認定の場合、給付奨学金の支給はありません。

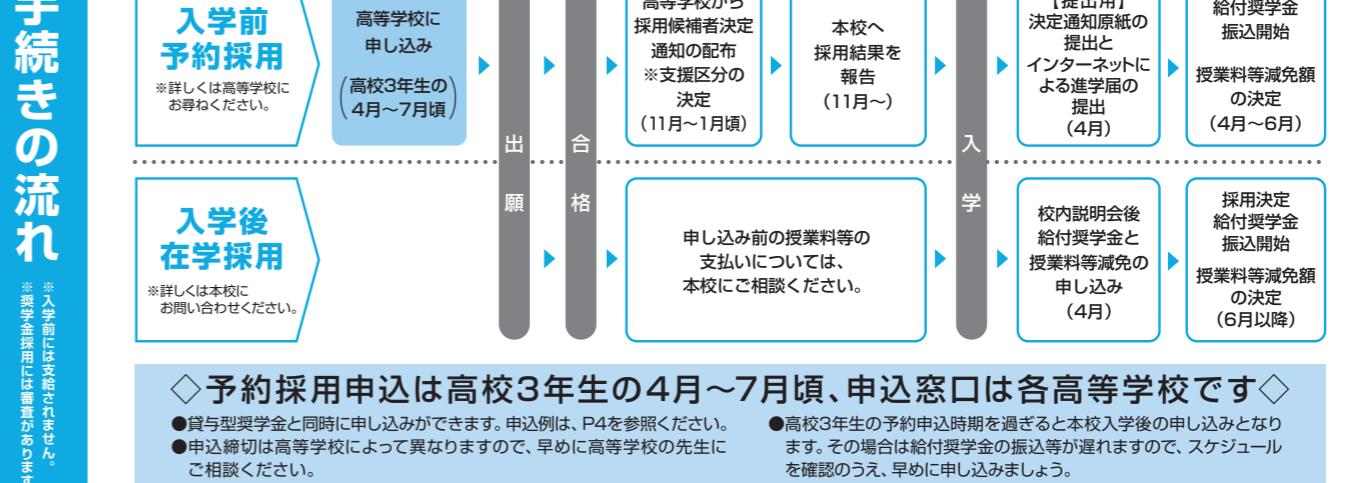
(※3) 本校は、第IV区分(私立理工農)につきましては対象ではありません。

▶本校の場合(減免される金額)

スポーツマネジメントテクノロジー科 スポーツ科学科		
入学金	授業料	合計
第I区分 標準額支援世帯	150,000円	590,000円
		740,000円
第II区分 2/3支援世帯	100,000円	393,400円
		493,400円
第III区分 1/3支援世帯	50,000円	196,700円
		246,700円
第IV区分 (多子世帯) (扶養する子供が3人以上で す)	150,000円	590,000円
		740,000円

※あくまで一例となります。年度途中の支援区分の見直し(年に1回10月、マイナンバーによる家計状況の確認)により対象区分は変更となる場合があります。

手続きの流れ



日本学生支援機構(JASSO)

詳細・
お問合せ先
ホームページアドレス
<http://www.jasso.go.jp>



文部科学省

高校生向け修学支援新制度
<http://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>



教育ローン 銀行系教育ローン

4

教育ローン

銀行系教育ローン

1.ご利用
いただける方

- 本校に入学または、在学する学生の保護者またはご本人さま（貸出時満20歳以上、完済時満65歳以内の方）。
- 前年度、税込年収200万円以上で安定した収入のある方。
- SMBCコンシューマーファイナンス株式会社の保証を受けられる方。
- 契約時に銀行（ローン契約機）にご来店いただける方。
- 日本国内在住の方。
※多重債務者、金融事故者、返済能力に欠けると診断された場合はご希望にそえないことがあります。

福岡銀行
(学資ローンDXの場合)

西日本シティ銀行

- お子さまが学校に在学または進学を予定する保護者の方
- お申込時の年齢が満20歳以上満74歳以下で、完済時の年齢が満80歳以下の安定した収入がある方
※ただし、個人事業主の方は税金の滞納や延滞がないことが必要です。
- パート・アルバイト・年金生活者はお申込できません。
- お取扱店のお近くにお住まい、またはお勧めの方
※現住所が当行の営業エリア内にあることが条件となります。
- 東京都内、大阪府内の店舗ではお取扱いしておりません。
- 保証会社の保証が受けられる方

10万円以上300万円以内（1万円単位）
その年度に本校に納める学費（諸経費含む）の範囲内。生活費は対象なりません。

- 本ローンを含む無担保借入総額が前年度年収の50%以内であること。
- 進学先パンフレット等に記載の金額と同じかそれよりも少ない金額。

10万円以上2,000万円以内（1万円単位）

10万円から1,000万円まで（1万円単位）

3.

資金使途

- 入学金・授業料等の学費（学校に納める諸経費含む）学校に払い込んだ証明（受領証の写し）を銀行に提出していただきます。但し、納付済み資金については、納付日より2ヶ月以内のものに限定されます。

- 資金使途確認資料で確認できるご本人、お子さま等のための下記費用（3ヶ月以内のお支払済資金までご利用いただけます）。
- 入学金・授業料など学校に納付をする資金
- 下宿代（1年分まで）
- 現在返済中の教育ローンのお借換資金
NCB EZ教育カードローンのご返済にはご利用いただけません。
- 受験費用、書籍代、制服代等
- 下宿（アパート）の家賃（※1）、敷金、引越費用等
- 留学費用、カルチャーカー費用等、入塾費用等
- 当行・他行・他社等の学資ローン借換資金（※2）
(※1) 授業料および家賃については、今後お支払予定のものを含めて最大1年間分までご利用いただけます。
(※2) 直近3ヶ月延滞がないことが条件になります。

4.

金利

年3.375% [変動]

[変動金利]年3.10%～
※Web（パソコン・スマート）以外でお申込の場合は、金利は年3.70%となります。
※毎年2回利率の見直しを行います。

変動金利 年3.0%
固定金利 年3.5%

5.

返済期間

1年以上10年以内（1ヶ月単位）

6ヶ月以上17年以内（6ヶ月単位）

6.

返済据置期間

6ヶ月以上10年以内（1ヶ月単位）

7年以内（6ヶ月単位）の元金返済据置可。
なお、元金返済据置期間中に一部線上返済はご利用いただけません。

7.

保証人

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社の保証

ふくぎん保証（株）または（株）ジャックスが保証しますので、担保・保証人・保証料（※）は不要です。
(※)保証料はお客さまから銀行にお支払いいただく金利の中から当行が保証会社へ支払いますので、お客さまから保証会社へお支払いいただく必要はありません。

8.

申込方法

最寄りの三井住友銀行本・支店窓口で相談、申込みとなります。

- WEBでのお申込み
- 以外（郵送・店頭等）でのお申込み

9.

お問合せ先

三井住友銀行 カードローンプラザ
0120-923-923
受付時間／9:00～20:00
(12月31日～1月3日を除く)

ふくぎんテレホンサービスセンター
0120-788-321
メニュー：【2】商品・サービス → 【5】各種ローン
受付時間／平日 9:00～20:00
土・日 10:00～17:00
(休業日12/31～1/3・5/3～5/5・平日の祝日・振替休日)

7

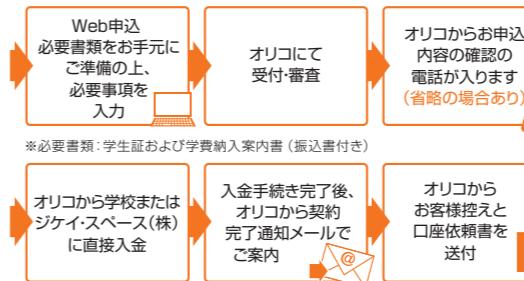
教育ローン 信販系教育ローン

5

教育ローン

信販系教育ローン

※2025年11月1日現在

	(株)オリエントコーポレーション	(株)ジャックス				
1.ご利用いただける方	本学に進学または在学される学生の保護者等、または、本人（社会人に限る）。 ※最終年度の学費については、就職内定している学生本人の申込も可能です。	入学予定または在学する学生の親権者かつ安定収入のある方				
2.融資額	10万円以上500万円以下	5万円以上500万円以下				
3.資金使途	入学金・授業料・施設設備費・教材費・海外研修費・寮費（学校提携の寮）（全額学園へ直接入金） ※学費と学生寮は別々にお申し込みが必要です。ただし支払いは一本化できます。	入学金・授業料・施設設備費・教材費・海外研修費・寮費（学校提携の寮）				
4.金利	実質年率3.0% [固定]	実質年率3.0% [固定]				
5.返済期間	お借入金額により異なります（追加の利用も可能です）	最長15年（据置期間含む）				
6.返済据置期間	申込日の翌月から卒業予定月まで ただし在学期間中の据置払いを卒業後最大1年間延長可能です。	申込日の翌月から卒業後6ヵ月まで				
7.担保・保証人	原則不要	原則不要				
8.返済方法	(1)通常返済 在学中から元金と分割手数料をご返済いただくプランです。 (2)ステップアップ返済 在学中は分割手数料のみ、卒業後は通常返済額にてご返済いただくプランです。 ※「親子リレー返済」も可能です。 ●追加利用されてもご返済を一本化できるのが特長です。 ●お支払途中に一部繰上げ返済可能（手数料不要、何度でも可、一回につき30,000円以上） ●支払途中に（増額に限り）月々の返済額変更が可能 ●卒業時に返済額の減額可能（最低返済テーブル内に限り） ※毎月27日に民間金融機関（ゆうちょ銀行含む）からの口座自動振替	①元利均等分割払い（在学中から元本と分割手数料（利息）をお支払） ②元利均等分割払い（在学中は分割手数料のみのお支払。卒業後は元金と手数料の分割払） ◆お支払途中に一部繰上げ返済可能（手数料は不要です）毎月のご返済とは別に、資金に余裕ができた際にお借入金額の一部を前倒して返済することにより、返済期間の短縮又は、毎月の返済額を減額することが可能です。 ●（株）ジャックス 教育ローン 返済イメージページアドレス https://www.jacccs.co.jp/service/credit/education/yuyu/				
9.申込方法	ホームページのバナーまたは二次元バーコードからのWeb申込と電話による郵送申込がございます。	インターネット申込（本校ホームページにバナーがあります）				
10.お問合せ先	学校Webサイトからの申込み  本校WebサイトTOPページ 入試情報 学費サポートシステム 資料請求・各種お問い合わせ バナーをクリック	<必要書類> ◆事前申込時：不要 ◆新入生：合格通知書、学費納付書の写し ◆在学生：学生証、学費納付書の写し				
	 Web申込 必要書類をお手元にご準備の上、 必要な事項を入力 オリコにて受付・審査 オリコからお申込内容の確認の電話がります（省略の場合あり）	お申込みの流れ				
	お申込みはWEBから!! 公式サイト https://www.jacccs-kyouiku.com/application/?id=706					
	 STEP 1 お客様 STEP 2 JACCCS STEP 3 お客様 STEP 4 JACCCS	専用Webサイトよりお申込み 学費納付書等写しのご送付 お申込み内容の確認電話 学校へ振り込み				
	●Web申込の場合、お申込の翌営業日に審査結果をスピード回答 ●Web申込・郵送申込とも 「審査から本校への入金完了まで最短5日！」 ●出願前から入学費用の借入可否をご通知する 「入学費用予約受付サービス」をご利用いただけます。 ※審査の結果、ご希望に添えない場合がございます。	審査の結果によりご希望にそえない場合がございます。予めご了承ください。 ※金利情勢の変動により、お利息等が変更になる場合があります。				
	株式会社オリエントコーポレーション 学費サポートデスク 0120-517-325 受付時間／9:30～17:30（土・日・祝日を除く）	0120-338-817 受付時間／10:00～19:00（平日・土日祝日） <table border="1"> <tr> <td>学校名</td> <td>ID / PW</td> </tr> <tr> <td>福岡医健・スポーツ専門学校</td> <td>D382 05566541</td> </tr> </table>	学校名	ID / PW	福岡医健・スポーツ専門学校	D382 05566541
学校名	ID / PW					
福岡医健・スポーツ専門学校	D382 05566541					

8

本校独自の学費サポート制度

学費分割納入

(分割納入対象は授業料・施設維持費のみです)



学費分割納入は本校独自の学費のサポートです。

日本学生支援機構奨学金(P3・4)、修学支援新制度(P5・6)を利用して納入いただけます。

利息無しで利用することができます。また、申請に際しての手数料は発生いたしません。

※学科・コース・専攻により金額や必要な費用の内容が異なります。

詳しくは本校の募集要項をご参照の上、お問い合わせください。

分割納入ご利用の流れ

STEP 1

合格通知が到着

出願→入学選抜後に合否通知が発送されます。
合格通知到着後、次のステップに進みます。

STEP 2

お電話で申込み

合格通知到着後、分割納入希望の旨を
学費担当へご連絡ください。
手続きについてのご案内後
本校より分納申請書類を郵送いたします。

STEP 3

分納申請書の提出・発行

分納申請書に必要事項をご記入後、
期日内にご返送ください。
申請受理後、分納許可書を発行いたします。

※分割納入対象は授業料・施設維持費のみです。その他の費用は分割納入対象外です。

〈分割納入スケジュール例〉※2027年度入学者の場合

●歯科衛生士科に入学

授業料	施設維持費	分割対象合計
710,000円	150,000円	860,000円



毎月振り込まれる奨学金を利用して納入



1年次4月～12月(9回払い)
約95,500円ずつ納入

MEMO

お問合せ先

分割納入についてのお問い合わせ・お申込みは下記までお電話ください。

学費担当 (0120-717-261)

受付時間／平日9:30～17:30(土・日・祝日を除く)

学費についてご不明点やご不安なことがありましたらお気軽にお問い合わせください。

福岡医健・スポーツ専門学校は、**公的機関から設置認可**されている学校のため**「通学定期券」**を使うことができます。

最寄りの公的機関

- 地下鉄…[箱崎線]千代県庁口駅 ※地下鉄ご利用の方は福岡市営地下鉄ホームページで金額をご確認いただけます。
- バス…築港口・石城町・国際会議場サンパレス前
- JR…博多駅・吉塚駅

通学定期(1ヶ月)一覧(～博多・天神まで)

※金額は学生割引料金(令和7年11月時点)、時間はおおよその乗車時間

(BT:バスターミナル)

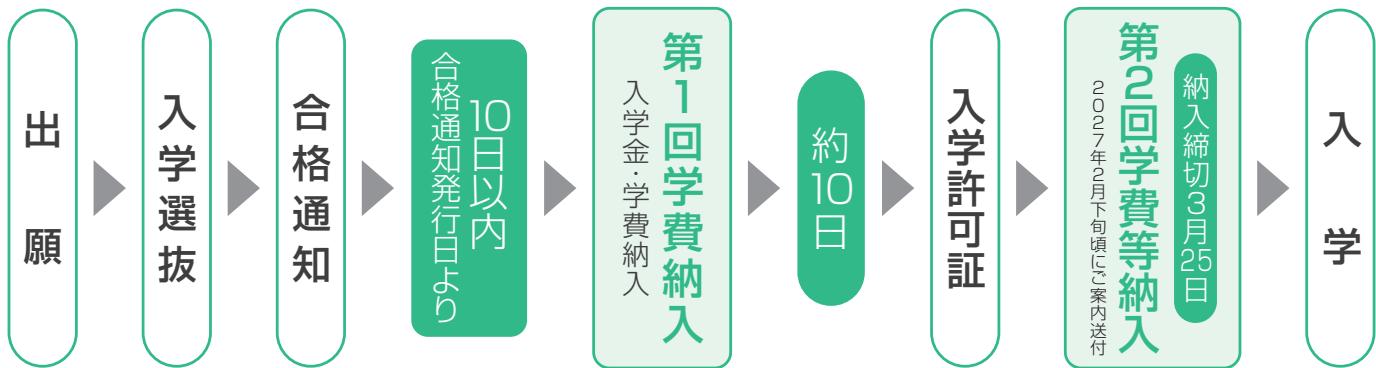
県	駅名	高速バス		JR		新幹線		西鉄電車		西鉄バス		
		金額	時間(分)	金額	時間(分)	金額	時間(分)	金額	時間(分)	金額	時間(分)	
福岡	小倉駅	¥29,640	95	¥19,800	90	¥50,350	20	-	-	-	-	
	小倉～天神BT	小倉～博多(快速)	小倉～博多	-	-	-	-	-	-	-	-	
	黒崎駅	¥29,640	60	¥15,950	60	黒崎～博多(快速)	-	-	-	-	-	
	黒崎IC(引野口)～天神BT	-	-	¥11,310	45	飯塚～博多(快速)	-	-	-	¥26,640	60	
	飯塚駅	筑豊エコルカードも利用可	-	田川後藤寺駅	筑豊エコルカードも利用可	¥14,960	80	田川後藤寺～博多	-	¥32,640	90	
	田川後藤寺駅	-	-	直方駅	-	¥14,960	60	直方～博多(快速)	-	-	-	
	直方駅	-	-	行橋駅	¥36,840	120	¥25,750	120	行橋～博多	-	-	-
	行橋駅	行橋～福岡(天神BT)	-	甘木駅	-	-	-	-	-	¥6,040	80	
	甘木駅	-	-	久留米駅	-	¥11,630	50	¥36,780	20	¥5,730	30	
	久留米駅	久留米～博多(快速)	久留米～博多	西鉄久留米～西鉄福岡(特急)	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀	羽犬塚駅	-	-	西鉄柳川駅	-	¥14,360	60	羽犬塚～博多(快速)	-	¥6,080	50	
	西鉄柳川駅	-	-	大牟田駅	-	¥20,190	90	西鉄柳川～西鉄福岡(特急)	-	¥6,250	60	
	大牟田駅	大牟田～博多	-	佐賀駅	¥26,640	80	¥36,190	40	佐賀～博多(特急)	-	-	-
	佐賀駅	佐賀BC～天神BT	佐賀～博多(特急)	鳥栖駅	-	¥10,870	45	鳥栖～博多(快速)	-	-	-	-
	鳥栖駅	-	-	唐津駅	-	¥20,580	90	唐津～姪浜～博多	-	-	-	-
長崎	唐津駅	-	-	武雄温泉駅	-	¥43,590	60	武雄温泉～博多(特急)	-	-	-	-
	武雄温泉駅	-	-	佐世保駅	-	¥63,650	120	佐世保～博多(特急)	-	-	-	-
	佐世保駅	日田駅	¥37,200	90	日田駅	¥45,330	80	日田～博多(特急)	-	-	-	-
大分	日田駅	日田BT～博多・天神	-	熊本駅	¥56,000*	130	-	-	熊本～博多	-	-	-
	熊本駅	桜町BT～博多・天神	-	新玉名駅	-	-	-	¥77,050	50	¥63,070	40	-
	新玉名駅	-	-	新下関駅	-	-	-	新玉名～博多	-	-	-	-
山口	新下関駅	-	-	新下関駅	-	-	-	¥54,880	30	新下関～博多	-	-

※スマートフォン専用定期券の場合

西鉄バス 博多駅・天神～学校近くのバス停までの1ヶ月定期券

乗車バス停	降車バス停	金額	乗車バス停	降車バス停	金額
天神～	築港口	¥7,560	石城町	石城町	¥7,560
石城町	国際会議場サンパレス前	-	国際会議場サンパレス前	-	¥9,360

出願から入学までの流れ



学費の納入期限・納入方法など
詳しくは学費担当までお問い合わせください

TEL 0120-717-261

受付時間／平日9:30～17:30(土・日・祝日を除く)

志望校決定の際のポイント

認可校の特長	「認可校」とは学校教育法に基づいて設立され、都道府県の認可を受けた学校です。 <input type="checkbox"/> 通学定期乗車券が購入できる <input type="checkbox"/> 学割が適用される <input type="checkbox"/> 日本学生支援機構奨学金制度が利用できる <input type="checkbox"/> 金融機関教育ローンが申し込める
「専門士」について	<input type="checkbox"/> 修業年限が2年以上であること。 <input type="checkbox"/> 総単位数が62単位以上等の条件を満たす学校を卒業すると授与される称号です。
「高度専門士」について	<input type="checkbox"/> 修業年限が4年以上であること。 <input type="checkbox"/> 総単位数が124単位以上等の条件を満たす学校を卒業すると授与される称号です。
高等教育の 修学支援新制度	<input type="checkbox"/> 経済的な理由で進学を諦めないための国の制度。(詳細はP5・6へ) <input type="checkbox"/> 国または自治体による要件確認を受けた専門学校が対象です。本校は対象校です。

本校は上記条件を満たす認可校なので、卒業と同時に「専門士」もしくは「高度専門士」の称号を授与されます。

